

1) 絵を読んで、足し算と引き算の文章題を語らせ、記録。  
 2) 足し算と引き算の混成課題だが、引き算に重点がある。  
 3) 全体集合の囲みは四角で表されていることに気付かせ、  
 または教える。  
 4) 続く課題とは相補的な関係をもつことに留意。

a) 絵から数的な意味を読み取り取る体験が、文章題を扱う準備となる。言語的な理解と視覚的な理解の相補。文章題の又は日常語で数式は算数語。文法が異なる。引き算を正答するためには、まず全体(上位)集合の意を想定しなくてはならない。



$4 - 3 = ?$



①

$4 + 3 = ?$



②

$7 - 3 = ?$



③

$10 - 3 = ?$



④

絵から数的な「おはなし」を汲み取って語らせ、対話し、話をまとめる。(下①から上へ)